

第 2 次西脇市 子どもの読書活動推進計画

令和 7 年 2 月

西脇市教育委員会

目 次

第 1 章	第 2 次計画の策定に当たって	1
1	子どもの読書活動の意義	1
2	第 2 次計画策定の趣旨	1
3	西脇市における子どもの読書活動の現状	2
第 2 章	第 2 次計画の基本的な考え方	9
1	計画の目的	9
2	計画の対象	9
3	計画の期間	9
4	計画の基本方針	9
第 3 章	子どもの読書活動推進計画の取組	11
1	家庭での読書活動の取組	11
2	地域での読書活動の取組	11
3	就学前教育・保育施設での読書活動の取組	12
4	小中学校での読書活動の取組	12
5	市図書館での読書活動の取組	13
第 4 章	第 2 次計画推進のための諸条件の整備	15
1	推進体制の整備	15
2	関係機関及び団体との連携	15
3	施設・設備等環境の整備	15
4	啓発・広報の推進	15
5	財政上の措置	15
用語解説		16
資料 1	「子どもの読書活動アンケート」結果詳細	19
資料 2	第 2 次計画目標値	32
資料 3	西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係る懇話会 開催要領	33
資料 4	西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係る懇話会 名簿	34
資料 5	第 2 次計画策定の経過	35
資料 6	子どもの読書活動の推進に関する法律	36

第 1 章 第 2 次計画の策定に当たって

1 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で大切な役割を果たすものです。

例えば、様々な国や文化の本を読むことで、子どもたちは自分の知らない人々の生活や考え方に触れ、異なる文化を理解することにより、多様性への理解や尊重の意識を育んでいきます。

また、本を読むことで子どもたちは言語能力や語彙力が向上し、コミュニケーション能力や自己表現のスキルを高めることにより自信を深め、自己肯定感を強化させていきます。

このように、子どもの読書活動を積極的に推進していくことは、子ども自身の将来のためにも、これからの社会の発展のためにも極めて重要です。

2 第 2 次計画策定の趣旨

近年、インターネットやスマートフォンの普及、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）等情報通信手段の多様化がますます加速し、読書環境の変化増大に伴う子どもの読書離れや読解力低下の進行が指摘されています。

国では、社会全体で子どもの読書活動を推進するため、平成13（2001）年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、平成14（2002）年8月にはこの法律に基づき、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されました。その後、順次策定が行われ、令和5（2023）年3月には、第5次計画が策定され、家庭、地域、学校等の連携・協力を重視した施策が展開されています。

兵庫県においては、国の計画に基づき、平成16（2004）年3月に「ひょうご子どもの読書活動推進計画」が策定され、その後国と同様に順次策定が行われ、現在、令和6（2024）年3月に策定された第5次計画の「読書を通じて、豊かな心と創造力を育む」という基本方針のもと、幼少期からの読書習慣の形成に取り組むとともに、子どもたちの発達段階に応じて、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たしながら、社会全体で子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。

本市では、子どもの読書活動の重要性に鑑み、様々な場面において読書活動を市全体に浸透させるため、国や県がこれまでに策定し

てきた計画の課題等を参考に、平成31（2019）年3月に「西脇市子どもの読書活動推進計画」（以下「第1次計画」という。）を策定し、地域社会全体で子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

しかし、令和2（2020）年より拡大した新型コロナウイルス感染症の影響による様々な教育活動の制限や、GIGAスクール構想による1人1台端末の整備など学校のICT環境の飛躍的な進展により、子どもたちの生活・学習環境は大きく変化しており、子どもの読書離れや活字離れ等、子どもの読書活動にも影響を与えている可能性があります。

このような状況を踏まえ、第1次計画の評価や課題の整理に加え、国や県の計画に新たに示された基本方針や推進方策を基に、本市の子どもの読書活動をより一層推進するため、今後5年間の基本方針を定める「第2次西脇市子どもの読書活動推進計画」（以下「第2次計画」という。）を策定します。

3 西脇市における子どもの読書活動の現状

本市における子どもの読書活動の実態を把握するため、市内認定こども園の5歳児クラス保護者及び市内小中学校の児童・生徒を対象に、子どもの読書活動に関するアンケートを実施しました。

※子どもの読書活動に関するアンケート

- ・調査対象 市内小学校3年生及び6年生並びに市内中学校2年生
市内認定こども園5歳児クラス保護者
- ・調査時期 令和6年9月
- ・アンケート結果詳細は【資料1】に掲載

(1) 読書が好きか嫌いか

「本を読むのは好きですか」という質問では、「好き」「どちらかというところ好き」と答えた児童・生徒の割合は、小学校3年生で78.8%、小学校6年生で56.6%、中学校2年生で62.6%でした。

一方、「どちらかというところ嫌い」「嫌い」と答えた児童・生徒の割合は、小学校3年生で12.3%、小学校6年生で31.9%、中学校2年生で26.4%でした。

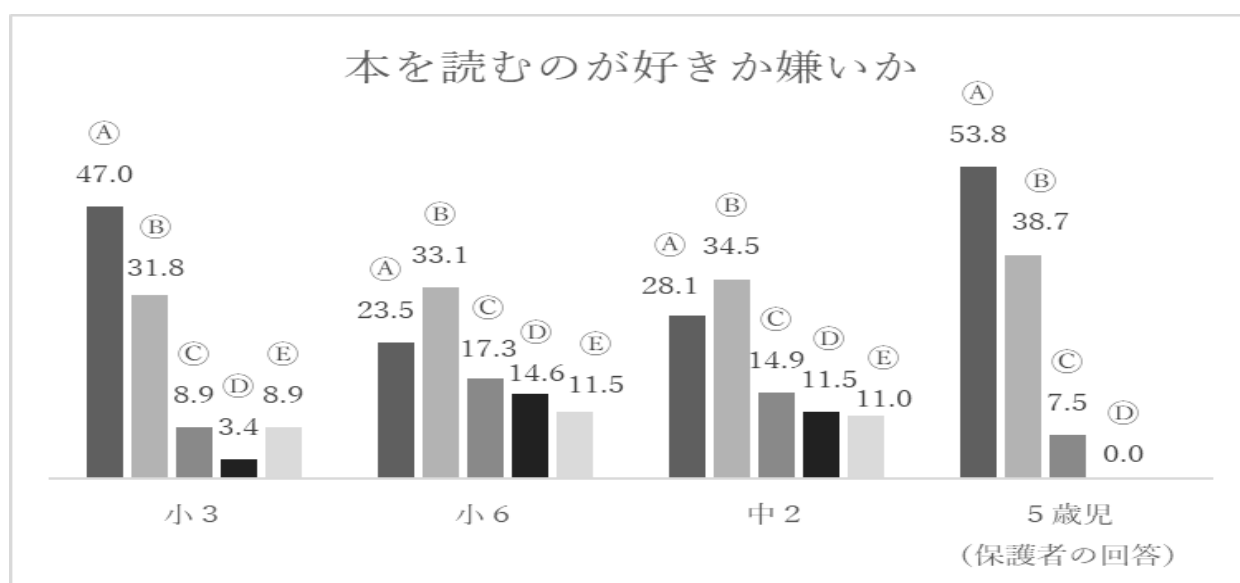
この結果から、本市では、小学校の学年が上がって一旦減少した肯定割合が中学校で増加していることが分かります。

なお、自分の子どもは本が「好き」「どちらかというところ好き」と答えた5歳児クラスの保護者の割合は92.5%と高くなっています。

本を読むのが好きか嫌いか

(単位：％)

	好き ㉠	どちらか という と好き ㉡	どちらか という と嫌い ㉢	嫌い ㉣	どちらで もない ㉤
小学校 ３年生	47.0	31.8	8.9	3.4	8.9
小学校 ６年生	23.5	33.1	17.3	14.6	11.5
中学校 ２年生	28.1	34.5	14.9	11.5	11.0
こども園５歳 児クラス（保 護者の回答）	53.8	38.7	7.5	0.0	



(2) 読書が好きな理由、嫌いな理由

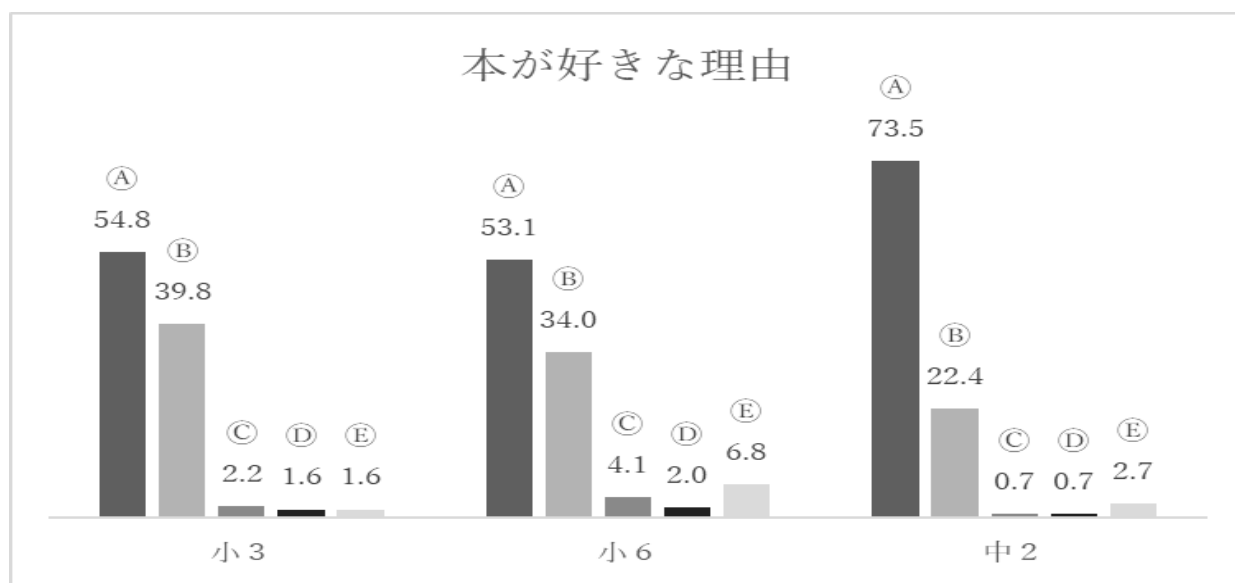
本を読むのが「好き」「どちらかというとき好き」と答えた児童・生徒にその理由を聞くと、どの学年も「面白いから」の割合が最も高く、次いで「色々なことが分かるから」の割合が高くなっています。

一方、本を読むのが「どちらかというとき嫌い」「嫌い」と答えた児童・生徒にその理由を聞くと、小学校３年生で「外で遊ぶ方が楽しいから」、小学校６年生で「読みたい本がないから」、中学校２年生で「テレビやインターネット、ゲームの方が楽しいから」の割合が最も高くなっています。

本が好きな理由

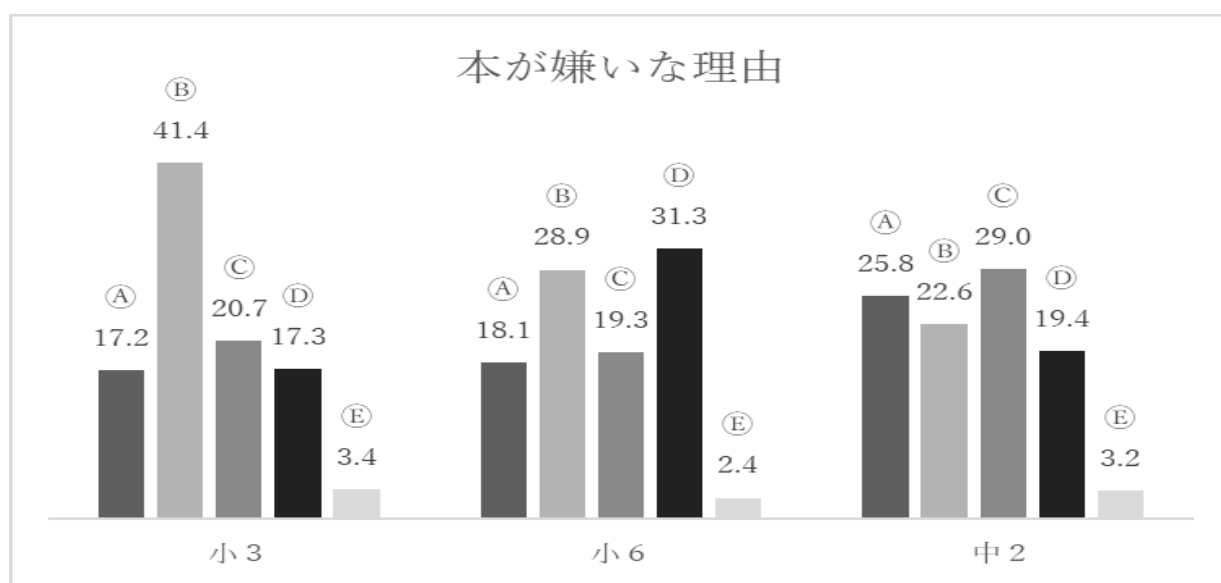
(単位：％)

	面白いから㉠	色々なことがわかるから㉢	先生や家の人に勧められたから㉡	友達が読んでいたから㉣	その他㉤
小学校 3年生	54.8	39.8	2.2	1.6	1.6
小学校 6年生	53.1	34.0	4.1	2.0	6.8
中学校 2年生	73.5	22.4	0.7	0.7	2.7



本が嫌いな理由 (単位：%)

	面白くないから ㉠	外で遊ぶ方が楽しいから ㉡	テレビやインターネット、ゲームの方が楽しいから ㉢	読みたい本がないから ㉣	その他 ㉤
小学校 3 年生	17.2	41.4	20.7	17.3	3.4
小学校 6 年生	18.1	28.9	19.3	31.3	2.4
中学校 2 年生	25.8	22.6	29.0	19.4	3.2



(3) 読書量

① 家で1か月に読む本の冊数

「家で1か月に本を何冊ぐらい読みますか」という質問では、「5冊以上」と答えた児童・生徒が小学校3年生で41.5%、小学校6年生で23.1%、中学生2年生で13.6%でした。読書量を冊数だけで評価することはできませんが、学年が上がるほど読む冊数は少なくなっています。

「読まない」と答えた児童・生徒の割合（不読率）は、小学校3年生で20.8%、小学校6年生で32.7%、中学校2年生38.3%と、学年が上がるほど増加しています。

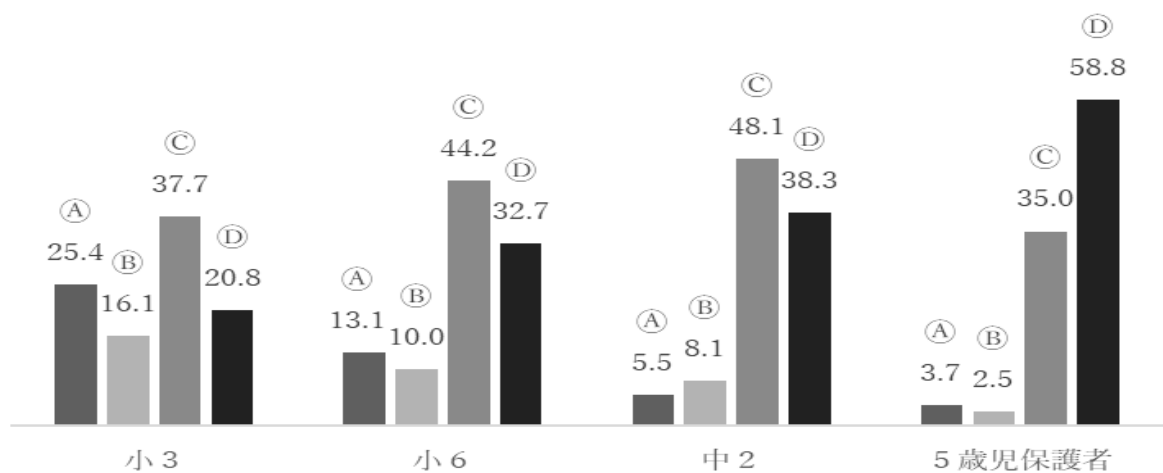
なお、「本を読まない」と答えた5歳児クラスの保護者の割合（不読率）は、58.8%となっています。

家で1か月に読む本の冊数

(単位：%)

	10冊以上 ㊸	5冊から9冊 ㊹	1冊から4冊 ㊺	読まない ㊻
小学校 3年生	25.4	16.1	37.7	20.8
小学校 6年生	13.1	10.0	44.2	32.7
中学校 2年生	5.5	8.1	48.1	38.3
こども園5歳児 クラス保護者	3.7	2.5	35.0	58.8

家で1か月に読む本の冊数



② 家で1日のうち本を読む時間

「家で1日に本を読む時間はどのくらいですか」という質問では、「60分（1時間）以上」と答えた児童・生徒の割合は小学校3年生で12.3%、小学校6年生で5.7%、中学校2年生で9.0%でした。

家で本が読める時間が「あまりない」「ない」と思うと答えた児童・生徒にその理由を聞くと、児童で「習い事のため」、生徒で「部活動のため」の割合が最も高くなっています。

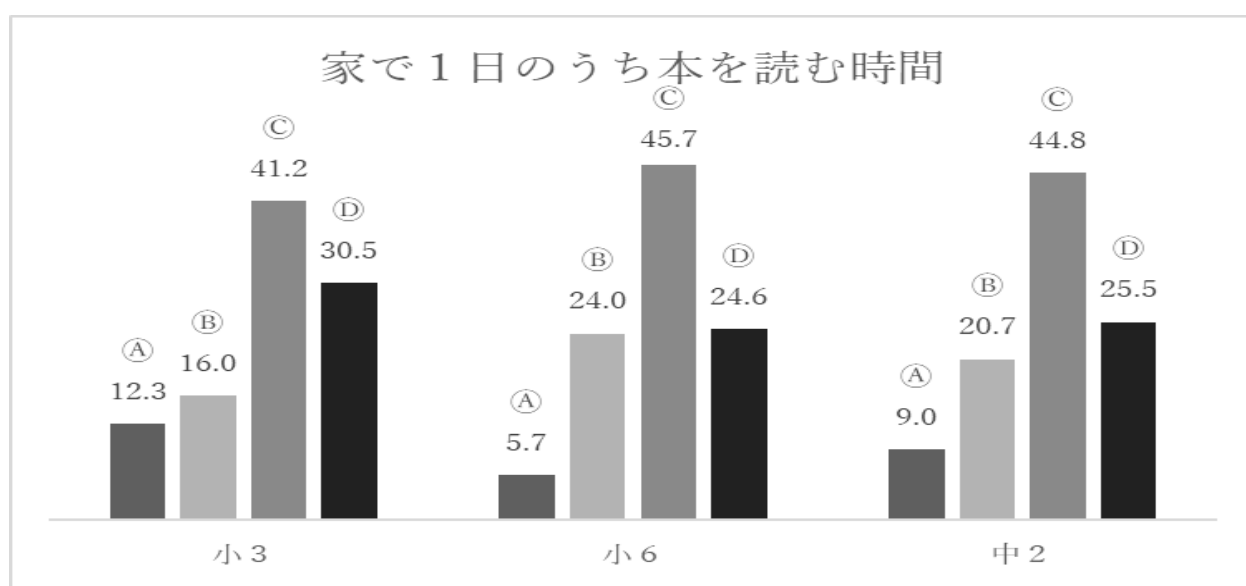
また、「家で1日のうちで、テレビやDVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどをする時間はどのくらいですか」という質問では、「1時間以上」と答えた割合は、小学校3年生で60.6%、小学校6年生で90.0%、中学校2年生で97.4%と、学年が上がるほど増加しています。

この結果から、本を読む時間より電子メディア・映像メディア

アに触れる時間の方が長い児童・生徒が多いことがうかがえます。

家で1日のうち本を読む時間 (単位：%)

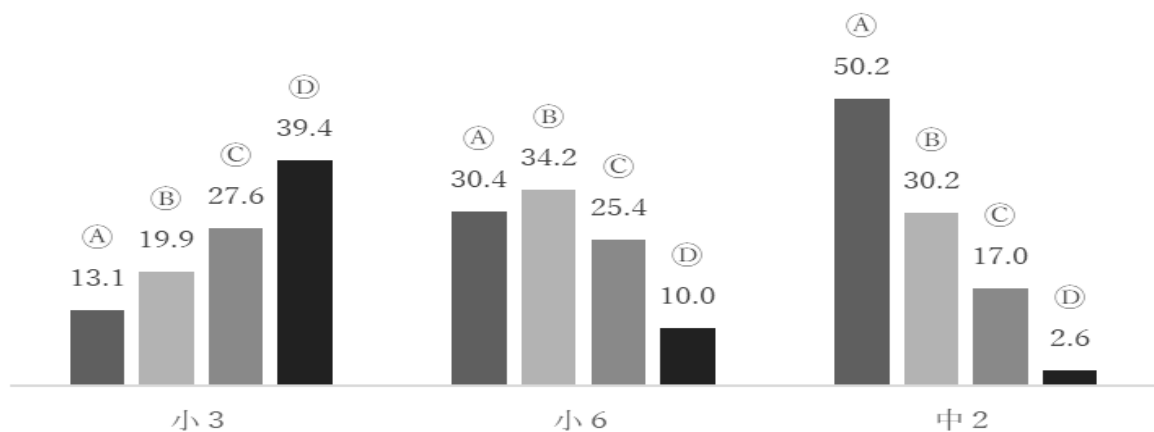
	60分以上 ㊸	30分から 59分 ㊹	10分から 29分 ㊺	1分から 9分 ㊻
小学校 3年生	12.3	16.0	41.2	30.5
小学校 6年生	5.7	24.0	45.7	24.6
中学校 2年生	9.0	20.7	44.8	25.5



家で1日のうちテレビやDVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどをする時間 (単位：%)

	3 時間以上 ㊤	2 時間以上 3 時間未満 ㊢	1 時間以上 2 時間未満 ㊣	1 時間未満 ㊦
小学校 3 年生	13.1	19.9	27.6	39.4
小学校 6 年生	30.4	34.2	25.4	10.0
中学校 2 年生	50.2	30.2	17.0	2.6

家で1日のうちテレビやDVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどをする時間



第2章 第2次計画の基本的な考え方

1 計画の目的

本市の子どもたちが、いつでもどこでも本に親しむための読書環境を整え、豊かな読書活動を行うことができるよう支援することを目的とします。

2 計画の対象

おおむね18歳以下（高校生以下）の子どもを対象とします。

3 計画の期間

令和7（2025）年度から令和11（2029）年度までの5年間とします。

4 計画の基本方針

第1次計画を引き継ぎ、次のとおりとします。

(1) 読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実

子どもが自主的に読書を行うようになるためには、乳幼児期から読書に親しめる環境づくりへの配慮が必要です。

家庭、地域、学校園等において、子どもが積極的に読書を行う意欲を高め、進んで読書を行う態度を培い、生涯にわたる読書習慣を身に付けることが大切です。また子どもの発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、子どもが興味を持ち、感動する本等を身近に整えることが重要です。

このような観点から、本市は子どもの自主的な読書活動の推進に資するため、子どもが読書に親しむ機会の提供と施設、設備その他の諸条件の整備・充実に努めます。

また、令和元（2019）年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」が制定されたことを踏まえ、障害のある子どもが豊かな読書活動ができるよう環境の整備を進めるとともに、日本語を母語としない子どもにも配慮した読書活動に取り組みます。

(2) 社会全体での取組の推進

子どもの自主的な読書活動の推進のためには、家庭、地域、学校園等を通じた社会全体での取組が必要です。それぞれが担うべき役割を果たして、子どもが読書に親しむ機会の充実を図ることはもとより、子どもの読書活動に携わる図書館、学校園等の関係機関、民間団体、事業者等が緊密に連携し、相互に協力しつつ、

取組を推進していくことが重要です。

このような観点から、家庭、地域、学校園等が相互に連携・協力して子どもの自主的な読書活動の推進を図る取組とともに、必要な体制の整備に努めます。

(3) 子どもの読書活動への理解と関心の普及

子どもの自主的な読書活動の推進のためには、子どもの読書活動の意義や重要性について、市民の間に広く理解と関心を深める必要があります。子どもは大人から昔話などの話を聞いたり、読書する大人の姿などに触発されたりして、読書意欲を高めていきます。子どもを取り巻く大人を含めた社会全体が読書活動の推進の気運を高めるとともに、特に保護者、教員、保育教諭等が読書活動に理解と関心を持つことが、子どもに自主的な読書態度や読書習慣を身に付けさせる上で重要です。

このような観点から、子どもの自主的な読書活動を推進する社会的気運醸成のため、読書活動の意義や重要性について広く普及・啓発を図るよう努めます。

第3章 子どもの読書活動推進計画の取組

基本方針に基づき、家庭・地域・学校園及び西脇市図書館（以下「市図書館」という。）が、それぞれの立場において子どもの読書活動の推進に取り組めます。

1 家庭での読書活動の取組

子どもが乳幼児期から読書習慣を身に付けるためには、身近に本に親しめる環境を整える必要があります、乳幼児にとって最も身近な居場所である家庭での取組が極めて重要となります。

しかし、家庭での取組だけでは十分な読書機会を作ることが難しい場合もあり、第1次計画においては、家庭での読書活動を支援するため、市図書館として様々な取組を行いました。

取組の結果、「おはなし会」の参加者は年々増加し、「絵本の読み聞かせ基礎講座」への保護者の参加も続いています。

また、市図書館における幼児の利用も増加しており、啓発活動や絵本の提供も継続して実施しています。

第2次計画では、引き続き家庭での読書活動を支援するための取組を実施していきます。

【第2次計画における取組】

ア 市図書館での「おはなし会」への参加

イ 保護者等向け「絵本の読み聞かせ基礎講座」への参加

ウ 市図書館の積極的利用の促進

エ 出生時と10か月児乳児相談時に絵本を提供（ブックスタート）

オ 3歳児健診時に絵本を提供（セカンドブック）【新規】

2 地域での読書活動の取組

地域での子どもの読書活動の推進のためには、地域の人々が、子どもの読書活動が子どもの成長過程において重要な役割を果たすものであることを理解し、幅広い人々の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることが必要です。

そのため、第1次計画においては、地域の諸施設を活用して、各地域で活躍しているボランティア（以下「地域ボランティア」という。）による「おはなし会」や市図書館の出前講座を実施するなど、地域での読書活動を推進する取組を進めました。

第2次計画では、引き続き地域での読書活動を支援するための取組を実施していきます。

【第2次計画における取組】

- ア 各地域の諸施設を活用した読書活動推進
- イ 地域ボランティアによる「おはなし会」の実施
- ウ 地域ボランティアによる放課後児童クラブでの読書活動への支援
- エ 市図書館による地域住民向けの出前講座を利用した「本の探し方講座」や「おはなし会」の実施【新規】

3 就学前教育・保育施設での読書活動の取組

乳幼児期は、様々なことばを覚え、理解する能力が発達する時期で、読書活動はそうした子どもの成長に重要な役割を果たしています。

子どもの豊かな心を育むために、第1次計画では各施設がそれぞれの施設に合った方法で取組を進めました。

今回のアンケート結果では、読み聞かせを「していない」と回答した5歳児クラス保護者の割合が30%を占めていました。このことから、保育教諭等による日常的な読み聞かせについては「絵本や物語に親しむ機会の確保」という点でも大変重要であると考えられます。

第2次計画では、引き続き就学前教育・保育施設での読書活動を支援するための取組を実施していきます。

【第2次計画における取組】

- ア 保育教諭等による日常的な読み聞かせの実施
- イ 園庭開放等を通じた未就園児に対する読み聞かせ等の実施【新規】
- ウ 保護者との連携による読書活動の取組
- エ 中学生や高校生、保護者等による読み聞かせの実施
- オ 市図書館が実施している図書団体貸出運搬事業の積極的活用

4 小中学校での読書活動の取組

各小中学校では、工夫して読書力を向上させる取組を実践しました。例えば、読書量を可視化し、児童・生徒のやる気を起こす取り組みや、図書委員会による意欲向上の取組として、本を選定する

「読書おみくじ」・アンケート「人気の本」、図書紹介・担任外教員による読み聞かせ等を行いました。また、児童・生徒の自尊心、自己有用感向上のため、各校区が連携して、中学生が小学生に本の読み聞かせを行うなどの、異学年・異校種交流にも取り組みました。

しかし、読書時間が授業で確保しづらい中、朝の読書やすきま読

書でその時間の確保に努めてきた歴史があるものの、G I G A スクール構想で児童・生徒1人に1台の端末が配布され、その積極的な利活用が奨励されていることもあり、学校での読書時間の確保は厳しい状況となっています。

また、アンケートでは家で本が読める時間が「十分ある」「ある」と答えた児童・生徒の割合は高いものの、本を読む時間より、テレビをはじめとする電子メディア・映像メディアに触れる時間の方が長い児童・生徒が多い結果となっています。しかし、本を読むのが「好き」「どちらかというと好き」と答えた児童・生徒の割合は高いことから、第2次計画では、市図書館の団体貸出等も利用しながら、児童・生徒の読書好きを増やし、読書時間の増加を図る取組をはじめ、引き続き小中学校での読書活動を支援するための取組を実施していきます。

【第2次計画における取組】

- ア すきま読書や移動書架等の身近な場所への図書設置の取組
- イ 市図書館が実施している図書団体貸出運搬事業の積極的活用
- ウ ブックママ等保護者や地域ボランティアによる読書活動支援の導入
- エ 学校と家庭との連携による「家読（うちどく）」の推進
- オ 「おはなし会」「ブックトーク」等での市図書館司書との連携推進
- カ 学校内での異学年交流や「朝の読書」時間の継続実施
- キ 教師や地域ボランティア等による読み聞かせ実施の積極的取組
- ク 団体貸出図書の読書通帳への印字のための市図書館システムとの連携
- ケ 学校図書室への蔵書管理システムの導入
- コ ビブリオバトルの手法を取り入れた取組の推進【新規】

5 市図書館での読書活動の取組

市図書館は、乳幼児から高齢者まであらゆる年齢層を対象とした蔵書の充実を図っており、特に家庭・地域・学校園等における子どもの読書活動を支える施設として重要な役割を担っています。

市図書館には、絵本や幼年童話、物語、その他あらゆる分野の本が、年齢層に応じて揃えられており、子どもが読みたいと思う本に出会えるように整備されている必要があります。また、子どもが読みたいと思う本は、時代とともに変化していくため、その変化を敏感に捉え、子どもが読みたいと思う本を予測して整備していくことも必要です。

第1次計画に掲げた市図書館の取組については、ほぼ全てを実施し、子どもの読書活動を市図書館が中心となって推進したことにより、相当の成果を上げたと考えています。

第2次計画では、引き続き家庭・地域・学校園等における子どもの読書活動を支援するため、市図書館での読書活動の取組を実施していきます。

【第2次計画における取組】

- ア 「おはなし会」「手話によるおはなし会」等の定期開催
- イ 「子どもの読書週間」行事の実施
- ウ 春・秋の「図書館まつり」の実施
- エ おすすめ本リスト（ブックレシピ）の作成・配布・展示
- オ 子どもの調べ学習への支援
- カ 図書団体貸出運搬業務委託の実施
- キ 読み聞かせやストーリーテリング、ブックトーク等の出前講座の実施
- ク トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ
- ケ 出生届出時と10か月児乳児相談時の2回の絵本提供（ブックスタート）
- コ 3歳児健診時の絵本提供（セカンドブック）【新規】
- サ 障害のある子ども向けの資料（点字図書、LLブック等）の充実
- シ 日本語を母語としない子どもに配慮した資料（多言語図書等）の充実【新規】
- ス 電子図書館の導入【新規】

第4章 第2次計画推進のための諸条件の整備

1 推進体制の整備

第2次計画を実施していくため、教育委員会を中心に、市全体で取り組んでいく必要があります。このため、第3章で定めた各取組が円滑に実現できるよう推進体制を整備します。また、第2次計画の進捗状況を管理するため、3年を目途に中間評価を行い、必要に応じ計画を修正します。

2 関係機関及び団体との連携

計画を推進するためには、関係機関と団体が相互に連携し、社会全体で取り組んでいくことが重要です。そのため、各機関、団体が担うべき役割をそれぞれ果たすとともに、相互協力できる体制を整備し、必要に応じて協議を行い、計画の実施に取り組みます。

3 施設・設備等環境の整備

子どもの読書活動を推進するためには、子どもが身近に本に親しめるよう、読書ができる施設や設備等の環境を整備することが重要です。

学校園や関係機関、団体等においては、本に親しめる環境整備の更なる推進に取り組みます。

4 啓発・広報の推進

子どもの読書活動の推進に当たっては、子どもの保護者はもちろん、様々な関係者や関係団体、さらには市民全体に推進の趣旨を周知していく必要があります。そのためチラシの作成・配布やポスターの掲示等様々な方法により、できるだけ多くの方々に理解、協力が得られるよう周知していきます。

また、学校園や図書館等の関係機関においても、子どもの読書活動の推進の周知を図るため、個別に掲示や市の広報紙、ホームページ、SNS等を活用して、保護者や関係者、市民へ広く情報発信し、啓発・広報の推進に努めます。

5 財政上の措置

本計画において定めた各種取組を実施するために必要な財政上の措置については、できる限り予算に反映できるよう努めます。

【用語説明】（50音順）

用 語	用語説明	ページ
朝の読書	学校で読書を習慣付ける目的で、朝の始業前の時間を利用して行う読書	P 12 ほか
家読 （うちどく）	家庭内での読書活動。親子で同じ本を読む、それぞれが読んだ本についての感想を話し合うなどの行動を介して、読書の習慣を付けるとともに、家族間でのコミュニケーションを図ろうとするもの	P 13
移動書架	学校において、図書室の図書を、教室や廊下など子どもたちの身近な場所に置くこと。	P 13
インターンシップ	学生が、興味のある企業などで実際に働いたり訪問したりする職業体験	P 14
エスエヌエス S N S	ソーシャルネットワーキングサービスの略称で、インターネット上で交流できる仕組みのこと。	P 1 ほか
絵本の読み聞かせ基礎講座	本の選び方や、読み聞かせの基礎的な内容、技法を学ぶ講座。家庭での読書活動の推進や地域や図書館ボランティアの育成を目的としている。	P 11
エルエル L Lブック	スウェーデン語の「LattLast」（英語で easy to read）の略。母語が日本語でなくても、知的障害があっても、誰もが読書を楽しめるよう工夫して作られた「やさしく読みやすい本」のことを指す。	P 14
おはなし会	市図書館が毎週水・土曜日の午前中に開催している読み聞かせ等の事業。主に就学前の子どもから小学生までを対象としている。	P 11 ほか
ギ G I G A スク ール構想	児童生徒向けの1人1台端末（パソコンやタブレットなどのI C T機器）と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想	P 2 ほか

用 語	用語説明	ページ
語彙力	物や事象を説明したり、ある言葉を他の表現に言い換えたりすることで、相手や場面にあわせて、よりわかりやすく、説明、表現することができる力	P 1
すきま読書	休み時間等の少しの時間を利用して読書を行うこと。例えば、自分の椅子の背もたれに袋を掛け、その中に本を入れておき、休み時間等を利用して読書を行う活動など	P 12 ほか
ストーリーテリング	主に子どもを対象に物語や昔話を語り聞かせる手法のこと。	P 14
セカンドブック	ブックスタート事業をフォローする事業として、3歳児に絵本を送る事業	P 11 ほか
電子図書館	インターネットを利用して、パソコンやスマートフォンからいつでも読書ができる非来館型サービスのこと。	P 14
図書団体貸出	子どもの読書活動の推進を図るため、市内の学校園等に市図書館の図書を貸し出す事業。運搬業務は業者委託している。	P 12 ほか
トライやる・ウィーク	兵庫県の公立中学校2年生を対象に、1週間にわたり実施する、地域の中で行う多様な社会体験活動。兵庫県教育委員会が推進する「兵庫型体験教育」の一つ	P 14
読書おみくじ	おみくじに書かれたジャンルの本を探して借りる企画。日頃読まないジャンルの本に挑戦することを狙いとしている。	P 12
読書通帳	図書館システムと連携した読書通帳機により貸出データを印字できるもの。貸出日、本のタイトル、著者名、金額等が表示される。	P 13
ビブリオバトル	自分が面白いと思った本を5分間で紹介し、数分のディスカッション後、参加者全員の投票で、一番読みたくなった本を決めるというゲーム	P 13

用 語	用語説明	ページ
ブックスタート	子どもの読書活動をできるだけ早い時期から支援するため、市図書館とはびいくサポートセンターと連携して、出生届出時と10か月児乳児相談時に絵本を贈る事業	P 11 ほか
ブックトーク	あるテーマに沿って、複数の内容の本を紹介し、読書意欲を起こさせる活動。多くは図書館や学校などで、児童・生徒を対象に行われる。	P 13 ほか
ブックママ	保護者等による、学校での子どもの読書活動の支援。主に図書室の整理や読み聞かせなどを行う。	P 13
不読率	1 か月で 1 冊も本を読まなかった人の割合	P 5
放課後児童クラブ	児童福祉法第 6 条の 3 第 2 項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生（放課後児童）に対し、授業の終了後に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る。	P 12

【資料 1】

「子どもの読書活動アンケート」結果詳細

1 アンケート対象者

- (1) 市内市立小学校 3 年生
- (2) 市内市立小学校 6 年生
- (3) 市内市立中学校 2 年生
- (4) 市内認定こども園 5 歳児クラス保護者

2 アンケート実施方法

学校貸与タブレット（又は保護者のスマートフォン等）でオンライン上の回答フォームから回答

3 アンケート実施時期

令和 6 年 9 月

4 アンケート回答数

- | | | | |
|----------------------------------|-------|-----|-------|
| (1) 市内市立小学校 3 年生（8 校） | 236 人 | 対象者 | 308 人 |
| (2) 市内市立小学校 6 年生（8 校） | 260 人 | 対象者 | 291 人 |
| (3) 市内市立中学校 2 年生（4 校） | 235 人 | 対象者 | 328 人 |
| (4) 市内認定こども園 5 歳児クラス保護者
（8 園） | 80 人 | 対象者 | 222 人 |

5 アンケート結果

※ 回答に分岐があるため、質問項目ごとの回答人数に違いがあります。

(1) 小学校 3 年生

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのは好きですか？		
好き	111	47.0
どちらかというとき好き	75	31.8
どちらかというとき嫌い	21	8.9
嫌い	8	3.4
どちらでもない	21	8.9
合 計（小 3）	236	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのが「好き」、「どちらかというと好き」なのはなぜですか？		
おもしろいから	102	54.8
いろいろなことがわかるから	74	39.8
先生や家の人にすすめられたから	4	2.2
友達が読んでいたから	3	1.6
その他	3	1.6
合 計 (小 3)	186	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのが「どちらかというときらい」、「きらい」なのはなぜですか？		
おもしろくないから	5	17.2
外で遊ぶ方が楽しいから	12	41.4
テレビやインターネット、ゲームの方が楽しいから	6	20.7
読みたい本がないから	5	17.3
その他	1	3.4
合 計 (小 3)	29	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で1か月に本を何冊ぐらい読みますか？		
10冊以上	60	25.4
5冊から9冊	38	16.1
1冊から4冊	89	37.7
読まない	49	20.8
合 計 (小 3)	236	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で1日に本を読む時間はどのぐらいですか？		
60分以上	23	12.3
30分から59分	30	16.0
10分から29分	77	41.2
1分から9分	57	30.5
合 計 (小 3)	187	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で本が読める時間はあると思いますか？		
じゅうぶんある	76	32.2
ある	115	48.7
あまりない	34	14.4
ない	11	4.7
合 計 (小 3)	236	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で本が読める時間が「あまりない」、「ない」と思うのはなぜですか？（いちばん大きい理由を選んでください）		
塾のため	5	11.1
習い事のため	20	44.5
テレビ、DVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどのため	9	20.0
家事や手伝いのため	9	20.0
その他	2	4.4
合 計 (小 3)	45	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
学校にある本をどのくらい読みますか？		
よく読む	78	33.1
ときどき読む	112	47.4
あまり読まない	38	16.1
読まない	8	3.4
合 計 (小 3)	236	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
学校にある本を「あまり読まない」、「読まない」なのはなぜですか？		
読みたい本がないから	20	43.5
読む時間がないから	5	10.9
他にしたいことがあるから	16	34.7
本がきらいだから	5	10.9
その他	0	0.0
合 計 (小 3)	46	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
西脇市の図書館にどのくらい行きますか？		
よく行く	55	23.3
ときどき行く	93	39.4
あまり行かない	62	26.3
行かない	26	11.0
合 計 (小 3)	236	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
西脇市の図書館に「あまり行かない」、「行かない」なのはなぜですか？		
読みたい本がないから	8	9.1
行く時間がないから	38	43.2
他にしたいことがあるから	20	22.7
本は買っているから	5	5.7
本がきれいだから	6	6.8
図書館が遠いから	8	9.1
その他	3	3.4
合 計 (小 3)	88	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
小さいころ家の人に本をどのくらい読んでもらいましたか？		
よく読んでもらった	93	39.4
ときどき読んでもらった	74	31.4
あまり読んでもらっていない	15	6.4
読んでもらったことがない	6	2.5
おぼえていない	48	20.3
合 計 (小 3)	236	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
1日のうちで、テレビやDVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどをする時間はどのくらいですか？（休みの日を含めた平均時間を選んでください）		
1時間未満	93	39.4
1時間以上2時間未満	65	27.6
2時間以上3時間未満	47	19.9
3時間以上	31	13.1
合 計 (小 3)	236	100

(2) 小学校 6 年生

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのは好きですか？		
好き	61	23.5
どちらかというとき好き	86	33.1
どちらかというとき嫌い	45	17.3
嫌い	38	14.6
どちらでもない	30	11.5
合 計 (小 6)	260	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのが「好き」、「どちらかというとき好き」なのはなぜですか？		
おもしろいから	78	53.1
いろいろなことがわかるから	50	34.0
先生や家の人にすすめられたから	6	4.1
友達が読んでいたから	3	2.0
その他	10	6.8
合 計 (小 6)	147	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのが「どちらかというとき嫌い」、「嫌い」なのはなぜですか？		
おもしろくないから	15	18.1
外で遊ぶ方が楽しいから	24	28.9
テレビやインターネット、ゲームの方が楽しいから	16	19.3
読みたい本がないから	26	31.3
その他	2	2.4
合 計 (小 6)	83	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で 1 か月に本を何冊ぐらい読みますか？		
10冊以上	34	13.1
5冊から9冊	26	10.0
1冊から4冊	115	44.2
読まない	85	32.7
合 計 (小 6)	260	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で1日に本を読む時間はどのくらいですか？		
60分以上	10	5.7
30分から59分	42	24.0
10分から29分	80	45.7
1分から9分	43	24.6
合 計 (小 6)	175	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で本が読める時間はあると思いますか？		
じゅうぶんある	86	33.1
ある	122	46.9
あまりない	41	15.8
ない	11	4.2
合 計 (小 6)	260	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で本が読める時間が「あまりない」、「ない」と思うのはなぜですか？（いちばん大きい理由を選んでください）		
塾のため	7	13.5
習い事のため	30	57.7
テレビ、DVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどのため	10	19.2
家事や手伝いのため	3	5.8
その他	2	3.8
合 計 (小 6)	52	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
学校にある本をどのくらい読みますか？		
よく読む	29	11.2
ときどき読む	85	32.7
あまり読まない	88	33.8
読まない	58	22.3
合 計 (小 6)	260	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
学校にある本を「あまり読まない」、「読まない」なのはなぜですか？		
読みたい本がないから	38	26.0
読む時間がないから	13	8.9
他にしたいことがあるから	69	47.3
本がきれいだから	19	13.0
その他	7	4.8
合 計 (小 6)	146	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
西脇市の図書館にどのくらい行きますか？		
よく行く	20	7.7
ときどき行く	103	39.6
あまり行かない	87	33.5
行かない	50	19.2
合 計 (小 6)	260	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
西脇市の図書館に「あまり行かない」、「行かない」なのはなぜですか？		
読みたい本がないから	18	13.1
行く時間がないから	28	20.4
他にしたいことがあるから	36	26.3
本は買っているから	17	12.4
本がきれいだから	19	13.9
図書館が遠いから	16	11.7
その他	3	2.2
合 計 (小 6)	137	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
小さいころ家の人に本をどのくらい読んでもらいましたか？		
よく読んでもらった	82	31.5
ときどき読んでもらった	95	36.5
あまり読んでもらっていない	22	8.5
読んでもらったことがない	3	1.2
おぼえていない	58	22.3
合 計 (小 6)	260	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
1日のうちで、テレビやDVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどをする時間はどのくらいですか？（休みの日を含めた平均時間を選んでください）		
1時間未満	26	10.0
1時間以上2時間未満	66	25.4
2時間以上3時間未満	89	34.2
3時間以上	79	30.4
合 計（小6）	260	100

(3) 中学校2年生

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのは好きですか		
好き	66	28.1
どちらかというとき好き	81	34.5
どちらかというとき嫌い	35	14.9
嫌い	27	11.5
どちらでもない	26	11.0
合 計（中2）	235	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのが「好き」、「どちらかというとき好き」なのはなぜですか？		
面白いから	108	73.5
色々なことがわかるから	33	22.4
先生や家の人に勧められたから	1	0.7
友達が読んでいたから	1	0.7
その他	4	2.7
合 計（中2）	147	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
本を読むのが「どちらかというと嫌い」、「嫌い」なのはなぜですか？		
面白くないから	16	25.8
外で遊ぶ方が楽しいから	14	22.6
テレビやインターネット、ゲームの方が楽しいから	18	29.0
読みたい本がないから	12	19.4
その他	2	3.2
合 計 (中 2)	62	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で1か月に本を何冊ぐらい読みますか？		
10冊以上	13	5.5
5冊から9冊	19	8.1
1冊から4冊	113	48.1
読まない	90	38.3
合 計 (中 2)	235	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で1日に本を読む時間はどのぐらいですか？		
60分以上	13	9.0
30分から59分	30	20.7
10分から29分	65	44.8
1分から9分	37	25.5
合 計 (中 2)	145	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で本が読める時間はあると思いますか？		
十分ある	57	24.3
ある	106	45.1
あまりない	63	26.8
ない	9	3.8
合 計 (中 2)	235	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
家で本が読める時間が「あまりない」、「ない」と思うのはなぜですか？（最も大きい理由を選んでください）		
部活動のため	32	44.4
塾のため	12	16.7
習い事のため	9	12.5
テレビ、DVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどのため	14	19.4
家事や手伝いのため	3	4.2
その他	2	2.8
合 計（中 2）	72	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
学校にある本をどのくらい読みますか？		
よく読む	12	5.1
ときどき読む	56	23.8
あまり読まない	71	30.2
読まない	96	40.9
合 計（中 2）	235	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
学校にある本を「あまり読まない」、「読まない」なのはなぜですか？		
読みたい本がないから	62	37.1
読む時間がないから	21	12.6
他にしたいことがあるから	62	37.1
本が嫌いだから	11	6.6
その他	11	6.6
合 計（中 2）	167	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
西脇市の図書館にどのくらい行きますか？		
よく行く	8	3.4
時々行く	63	26.8
あまり行かない	83	35.3
行かない	81	34.5
合 計（中 2）	235	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
西脇市の図書館に「あまり行かない」、「行かない」なのはなぜですか？		
読みたい本がないから	23	14.0
行く時間がないから	30	18.3
他にしたいことがあるから	42	25.6
本は買っているから	32	19.5
本が嫌いだから	3	1.8
図書館が遠いから	24	14.7
その他	10	6.1
合 計 (中 2)	164	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
小さいころ家の人に本をどのくらい読んでもらいましたか？		
よく読んでもらった	72	30.6
時々読んでもらった	80	34.0
あまり読んでもらっていない	22	9.4
読んでもらったことがない	6	2.6
覚えていない	55	23.4
合 計 (中 2)	235	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
1日のうちで、テレビやDVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどをする時間はどのくらいですか？（休日も含めた平均時間を選んでください）		
1時間未満	6	2.6
1時間以上2時間未満	40	17.0
2時間以上3時間未満	71	30.2
3時間以上	118	50.2
合 計 (中 2)	235	100

(4) 市内認定こども園 5 歳児クラス保護者

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
読書（読み聞かせ）は子どもの健やかな成長に重要だと思いますか？		
とても重要である	53	66.3
ある程度重要である	25	31.2
あまり重要ではない	2	2.5
重要ではない	0	0.0
合 計（5 歳児クラス保護者）	80	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
お子様にどのくらい読み聞かせをしていますか？		
ほぼ毎日	13	16.3
週に 3 ～ 4 回	7	8.7
週に 1 ～ 2 回	36	45.0
していない	24	30.0
合 計（5 歳児クラス保護者）	80	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
読み聞かせを「していない」のはなぜですか？		
忙しくて時間がないから	17	70.8
読んでもあまり聞かないから	3	12.5
読む必要がないと思うから	0	0.0
子どもが自分で読むから	3	12.5
その他	1	4.2
合 計（5 歳児クラス保護者）	24	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
お子様は本（読み聞かせも含む）が好きだと思いますか？		
好き	43	53.8
どちらかというとき好き	31	38.7
どちらかというとき嫌い	6	7.5
嫌い	0	0.0
合 計（5 歳児クラス保護者）	80	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
お子様の本を借りるために図書館（市図書館等）へどのくらい行きますか？		
よく行く	12	15.0
時々行く	27	33.8
あまり行かない	21	26.2
行かない	20	25.0
合 計（5歳児クラス保護者）	80	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
図書館に「あまり行かない」、「行かない」なのはなぜですか？		
子どもに読ませたい本がないから	0	-
行く時間がないから	19	46.3
他にしたいことがあるから	3	7.3
本は買っているから	10	24.4
（自分自身が）本が嫌いだから	2	4.9
図書館が遠いから	3	7.3
その他	4	9.8
合 計（5歳児クラス保護者）	41	100

質問項目・回答	人数(人)	構成比(%)
あなた自身は1か月に本を何冊くらい読みますか？		
10冊以上	3	3.7
5冊から9冊	2	2.5
1冊から4冊	28	35.0
読まない	47	58.8
合 計（5歳児クラス保護者）	80	100

【資料 2】

第 2 次計画目標値

	目標とする項目	現 状	計画最終年度 (R 11) 目標 値
①	18歳以下の図書貸出冊数	83,506冊	90,000冊
②	18歳以下の有効登録者数	4,506人	4,600人
③	読書が好き、どちらかといえば 好きと答えた小学生の割合	67.1%	70.0%
④	読書が好き、どちらかといえば 好きと答えた中学生の割合	62.6%	65.0%

※現状①②はR 5実績、③④はR 6アンケート結果による。

【資料 3】

西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係る懇話会開催 要領

1 趣旨

この要領は、西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係る懇話会（以下「懇話会」という。）の開催に関し、必要な事項を定めるものとする。

2 懇話会の内容

懇話会は、子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項に基づく西脇市子どもの読書活動推進計画の策定に当たり、読書活動の推進に関して意見交換を行うものとする。

3 懇話会の構成

- (1) 懇話会は、学校教育課長、幼保連携課長、幼児教育センター長、図書館長、こども政策課長、認定こども園の代表者、図書館担当小学校長及び図書館担当中学校長の職にある者をもって構成する。
- (2) 懇話会は、必要があると認めるときは、前号に掲げる者以外の者の出席を求めることができる。

4 懇話会の運営

懇話会は、事務局による説明を行い、当該説明に対し意見を述べる形式により進行するものとする。

5 部会

懇話会は、必要があると認めるときは、部会を置くことができる。

6 庶務

懇話会の庶務は、図書館担当部において処理する。

7 その他

この要領に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成29年12月20日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年7月31日から施行する。

【資料 4】

西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係る懇話会名簿

令和 6 年 8 月

所 属	氏 名	備 考
学校教育課長	衣川 正昭	
幼保連携課長	伊藤 宏明	
幼児教育センター長	橋本 恭代	
図書館長	楠本 昌信	
こども政策課長	長井 恵美	
認定こども園代表者 (黒田庄こども園長)	荻野 隆之	
図書館担当小学校長 (芳田小学校長)	中根 良介	
図書館担当中学校長 (西脇中学校長)	竹内 友哉	

【資料 5】

第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画策定の経過

実施年月日	実施項目	協議内容
令和 6 年 8 月 1 日	第 1 回第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係る懇話会	第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画の策定について
令和 6 年 10 月 25 日	第 2 回第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係る懇話会	第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画（素案）について
令和 6 年 12 月 24 日 ～ 令和 7 年 1 月 23 日	第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係るパブリックコメント	第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画について
令和 7 年 2 月 19 日	第 3 回第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画策定に係る懇話会	第 2 次西脇市子どもの読書活動推進計画策定の最終確認

【資料 6】

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ

計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

